



平成31年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年12月7日

上場会社名 株式会社 アルトナー
 コード番号 2163 URL <https://www.artner.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 相三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 張替 朋則

TEL 06-6445-7551

四半期報告書提出予定日 平成30年12月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第3四半期の業績(平成30年2月1日～平成30年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第3四半期	4,723	10.0	605	21.5	613	21.1	421	20.5
30年1月期第3四半期	4,295	11.6	498	18.5	506	17.6	349	23.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第3四半期	39.64	
30年1月期第3四半期	32.89	

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第3四半期	3,240	2,213	68.3
30年1月期	2,763	1,963	71.1

(参考) 自己資本 31年1月期第3四半期 2,213百万円 30年1月期 1,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期		13.00		17.00	30.00
31年1月期		7.50			
31年1月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 平成30年1月期の期末配当の内訳 普通配当15円00銭 記念配当2円00銭

(注2) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成30年1月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成31年1月期の業績予想(平成30年2月1日～平成31年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,170	7.0	768	12.8	772	11.8	531	10.5	50.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年1月期3Q	10,627,920 株	30年1月期	10,627,920 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年1月期3Q	2,329 株	30年1月期	2,156 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

31年1月期3Q	10,625,623 株	30年1月期3Q	10,625,908 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページ(<https://www.artner.co.jp/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しの動き、設備投資の増加基調、雇用・所得環境の改善等により緩やかに回復を続けております。

先行きについても回復が続いていくことが見込まれますが、米国の通商政策の動向、中国経済をはじめとしたアジア新興国等の景気の下振れリスクに注視していく必要があります。

当社の主要顧客の業種別売上高においては、輸送用機器、電気機器、精密機器の構成比が高く、その中でも、自動車完成品メーカー、部品メーカーを含む輸送用機器が増加しております。また、当社の技術者の専門分野である機械、電気・電子、ソフトウェアにおいては、自動車関連業界での運転支援技術を備えた先進安全自動車等のプロジェクトの活発化を受け、ソフトウェア分野の売上高が増加しております。

このような状況の中、当社の技術者派遣事業においては、技術者数が前年同期を上回ったこと、稼働率が高水準で推移したことに加え、平成30年4月入社の新卒技術者を当初の予定より前倒しで配属できたことにより、稼働人員は前年同期を上回りました。また、技術者の業務実績を踏まえた顧客企業との単価交渉に加え、新卒技術者の質が向上し初配属単価が上昇したことにより、技術者単価は前年同期を上回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,723,337千円（前年同期比10.0%増）、営業利益は605,062千円（前年同期比21.5%増）、経常利益は613,104千円（前年同期比21.1%増）、四半期純利益は421,208千円（前年同期比20.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ476,951千円増加し、3,240,571千円となりました。これは主に、売上債権の増加202,239千円、現金及び預金の増加185,994千円があったことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ226,691千円増加し、1,026,585千円となりました。これは主に、賞与引当金の増加157,173千円、退職給付引当金の増加60,832千円があったことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ250,259千円増加し、2,213,986千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加251,197千円があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ185,994千円増加し、1,869,370千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、409,694千円（前年同期比15,728千円増）となりました。これは主に、法人税等の支払額257,611千円、売上債権の増加額202,239千円があったものの、税引前四半期純利益612,330千円、賞与引当金の増加額157,173千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、55,276千円（前年同期比29,690千円増）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出33,942千円、敷金及び保証金の差入による支出17,677千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、168,423千円（前年同期比34,220千円増）となりました。これは主に、配当金の支払額168,228千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,683,375	1,869,370
受取手形及び売掛金	700,551	902,791
仕掛品	474	3,353
原材料及び貯蔵品	1,121	3,546
その他	89,801	144,062
貸倒引当金	△4,200	△5,400
流動資産合計	2,471,125	2,917,723
固定資産		
有形固定資産	83,046	81,312
無形固定資産	56,118	59,827
投資その他の資産		
敷金及び保証金	56,795	67,514
その他	96,533	114,193
投資その他の資産合計	153,329	181,708
固定資産合計	292,494	322,848
資産合計	2,763,619	3,240,571
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	150,544	155,887
賞与引当金	102,129	259,302
その他	293,959	297,302
流動負債合計	546,632	712,491
固定負債		
退職給付引当金	253,261	314,093
固定負債合計	253,261	314,093
負債合計	799,893	1,026,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,284	238,284
資本剰余金	168,323	168,323
利益剰余金	1,552,295	1,803,493
自己株式	△503	△698
株主資本合計	1,958,400	2,209,402
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,326	4,583
評価・換算差額等合計	5,326	4,583
純資産合計	1,963,726	2,213,986
負債純資産合計	2,763,619	3,240,571

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成29年2月1日 至平成29年10月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成30年2月1日 至平成30年10月31日）
売上高	4,295,664	4,723,337
売上原価	2,759,428	2,983,571
売上総利益	1,536,236	1,739,766
販売費及び一般管理費	1,038,226	1,134,704
営業利益	498,009	605,062
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	142	164
受取手数料	353	375
研修教材料	761	786
保険配当金	4,195	4,573
助成金収入	1,350	891
その他	1,925	1,340
営業外収益合計	8,732	8,136
営業外費用		
支払利息	—	36
解約違約金	398	58
営業外費用合計	398	94
経常利益	506,343	613,104
特別損失		
固定資産除却損	—	773
特別損失合計	—	773
税引前四半期純利益	506,343	612,330
法人税、住民税及び事業税	237,089	268,684
法人税等調整額	△80,180	△77,562
法人税等合計	156,909	191,122
四半期純利益	349,434	421,208

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成29年2月1日 至 平成29年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成30年2月1日 至 平成30年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	506,343	612,330
減価償却費	10,342	11,454
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,000	1,200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	180,527	157,173
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	53,311	60,832
受取利息及び受取配当金	△146	△168
支払利息	—	36
未収入金の増減額 (△は増加)	△3,998	6,456
売上債権の増減額 (△は増加)	△155,970	△202,239
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,559	△5,303
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,052	△7,964
未払金の増減額 (△は減少)	△32,343	△27,498
その他	64,997	60,864
小計	625,556	667,174
利息及び配当金の受取額	146	168
利息の支払額	—	△36
法人税等の支払額	△231,736	△257,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,966	409,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,787	△3,875
無形固定資産の取得による支出	△18,828	△33,942
敷金及び保証金の差入による支出	△569	△17,677
敷金及び保証金の回収による収入	1,139	239
投資有価証券の取得による支出	△521	—
その他	△19	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,586	△55,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△65	△195
配当金の支払額	△134,137	△168,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,203	△168,423
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234,176	185,994
現金及び現金同等物の期首残高	1,372,728	1,683,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,606,905	1,869,370

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。